

平成 29 年度第 2 回「埴町地域公共交通活性化協議会

日時：平成 29 年 12 月 7 日(木)午後 2 時 00 分

場所：埴農村勤労福祉会館 2 階 小研修室

－次 第－

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事
4. その他
5. 閉会

塙町地域公共交通活性化協議会委員名簿

No.	団体名	所属 職名	氏名	出欠
1	塙町	副町長	小松 利顕	出席
2	福島交通株式会社	白河営業所長	長田 春治	出席
3	有限会社塙タクシー	代表取締役	鈴木 岳	出席
4	有限会社ファミリータクシー	代表取締役	鈴木 創一	出席
5	国道交通省東北地方整備局 郡山国道事務所	調査課長	板垣 浩美	欠席
6	福島県棚倉土木事務所	所長	馬場 靖	出席
7	棚倉警察署	地域交通課長	佐藤 潤一	出席
8	行政区画長連合会	会長	水野 信夫	出席
9	塙町 PTA 連合協議会	会長	金澤 宏	出席
10	塙町老人クラブ連合会	会長	木村 澄男	出席
11	塙町青少年育成町民会議 (塙地区推進協議会)	会長	原 宗光	欠席
12	塙町青少年育成町民会議 (常豊地区推進協議会)	会長	佐藤 久次	出席
13	塙町青少年育成町民会議 (笹原地区推進協議会)	副会長	金田 一徳	欠席
14	塙町婦人会	前会長	芳賀 とし子	出席
15	塙町婦人会	会長	田子 富子	出席
16	ふくしま自治研修センター	総括支援アドバイザー	吉岡 正彦	出席
17	国土交通省東北運輸局 福島運輸支局	主席運輸企画専門官	牛渡 朋幸	出席
18	福島県県南地方振興局	県民環境部主幹兼副部長 兼県民生活課長	鈴木 裕幸	出席
19	塙町商工会	事務局長	芳賀 浩美	出席
20	はなわ共栄会	代表	吉田 啓治	欠席
21	はなわよく協同組合	理事長	鈴木 三直	欠席
22	塙町社会福祉協議会	事務局長	鈴木 雅人	欠席
23	塙厚生病院	事務長	石井 浩	欠席
24	福島交通労働組合白河支部	棚倉分会長	原 喜一	出席

オブザーバー

1	塙町教育委員会	学校教育課長補佐	星 忠吉	欠席
---	---------	----------	------	----

事務局

1	埴町まち振興課	課長	金澤 祐介	欠席
2	埴町まち振興課	課長補佐	吉成 知温	欠席
3	埴町まち振興課	地域づくり係長	遠藤 安弘	出席
4	埴町まち振興課	主査	鈴木 愛	出席

委託コンサルタント

1	株式会社ケー・シー・エス	出席
---	--------------	----



議事要旨

1.開会

2.会長あいさつ

- ・ 埴町地域公共交通活性化協議会会長の会長（埴町副町長）よりあいさつが行われた。

3.議事

- ・ 事務局まちづくり振興課主査より「（1）平成 30 年 4 月からの市区町村生活交通バス運行計画の見直しについて」の資料説明が行われた。

会長（埴町副町長）

- ・ 平成 30 年 4 月からの市町村生活交通バス運行計画の見直しに関して質問意見等ありましたらお願い致します。無いでしょうか、特にこの地区の方々からも意見等は無かったので、よろしいですか。

参加者一同

- ・ 異議なし。

会長（埴町副町長）

- ・ （1）平成 30 年 4 月からの市町村生活交通バス運行計画の見直しにつきましては、原案のとおり承認します。
- ・ 事務局まちづくり振興課主査より「（2）埴町地域公共交通網形成計画策定について」の資料説明が行われた。

会長（埴町副町長）

- ・ アンケート調査はどれ位の回収率か。

KCS

- ・ 住民のアンケートは 603 票回収し、40%の回答があった。
- ・ 中学生、高校生については学校を通して調査しており、中学生については 95%の方に回答を得ている。高校については 1 学年という事と利用していない方は回答をいただけなかった事もあり結果としては回答率が低い状況になっていた。

会長（埴町副町長）

- ・ ある程度、回収率としては高いと考えても良いのでは。

KCS

- ・ 通常のアンケート調査では 4 割程度の回収率のため比較的高いと考えている。

会長（埴町副町長）

- ・ 調査結果に若干誤差はあると考えて良いか。

KCS

- ・ あくまでもアンケート調査のため、全数確認では無いので調査の結果と言う事でご理解頂きたい。
- ・ 事務局まち振興課主査より追加資料「常豊地区デマンドタクシー実証運行について」の資料説明が行われた。

会長（埴町副町長）

- ・ ここまでで質問、意見等は有るか。
- ・ 次の方向性も含めて、その中で何か有れば、また意見をいただければ。
- ・ KCS より「②埴町における公共交通の課題整理」に関して資料 1 を基に説明が行われた。

会長（埴町副町長）

- ・ デマンドや小型バスは、これで決定ではなくこういう事が考えられるという提案と考えて良いか。

KCS

- ・ はい。

まち振興課主査

- ・ 高城地区で来年度、タクシー補助チケットの検討を行っており、そういった結果も踏まえながら町内の地域情勢や地形に合った公共交通を取り入れて行きたいが、町ばかりが提案するのではなく地域の中で運営して行く様な声も挙がると良いので、要望が有る地域の住民主体の交通の検討と言う形で含めたいと思い記載している。

会長（埴町副町長）

- ・ ネットワークの方向性、基本方針について質問意見等ありましたらお願いいたします。
- ・ 方向性の 1 で広域連携とあるが、隣接市町村ではどのような動きがあるのか。

福島県県南地方振興局

- ・ 白河市の協議会が開かれ、その際にも白河市の場合、西郷村、棚倉町、石川町が出て来た。以前は福島交通で中島村や泉崎や矢吹町を行き来できるバスも走っていた。
- ・ 白河市では定住自立圏構想で、近隣町村の意見等も聞いて行かねばならないのではないかなという意見が委員からあり、これから進めて行くに当たりやって行きたいという話が有ったので、埴町においてもそのような部分は大切なのではないかな。

会長（埴町副町長）

- ・ 人口減少にあわせて交流人口の拡大、観光客を呼び入れに関して、埴町は基幹道路が 118 号や、289 号、349 号、349 号は若干道幅が狭い。
- ・ 広域連携とかも見据えながら、町の中心を走るという事に関して質問意見は有りますか。

埴町婦人会会長

- ・ 動く範囲がだんだん広がってくると厚生病院や、棚倉に行く方も多いので広域連携は必要。
- ・ 年寄りには乗り降りも大変になるので、本当であればそのまま行けるのが年配の方にとっては良い。

ふくしま自治研修センター総括支援アドバイザー

- ・ 広域を取り分けたと言うのは良い視点。全体的に網羅された提案になっている。少し長期を睨んだ10年と言う計画は、工夫した計画になっている。
- ・ この絵の表現だが幹線軸が黒い太線で書かれているが、広域幹線軸のような位置付けに。支線という位置付けになっているが、町内の幹線という考え方が一つあってもいい。幹線が有って支線が有ると言う表現の方が表現としては分かり易い。
- ・ 常豊地区は、実際路線バスが入っているので、場合によっては町内の幹線軸という事で表現をしたら良い。現状では何も無い様に見えてしまうので、もう少し表現の工夫のし所がある。大きな流れの中でどこまで表現するかと言うのは難しい所が有るが、将来の人口分布と対応した町内の幹線バス路線は、ここに書き込んで良いのでは。

埴町婦人会会長

- ・ 基本方針の4で住民協働による持続可能な交通の仕組み作りに関して、他所での事例は無いかな。

KCS

- ・ 全国的にかなりの量で既にやっており、特に私度ものほうの業務でやっている所では静岡県内の自治体は、特にやるにあたり路線バスが走っている所、後はタクシーが入って行く所は自分たちでやると、お客さんを取り合ってしまうのでそのあたりの調整、要するにそこまで送迎も行けないし、タクシーも迎えに行くのは凄くコストが掛かるので行けないとかいった所や、車をお願いして自分たちでやりませんといった事は少しずつ今取り組まれている。

埴町婦人会会長

- ・ 区の方たちが調整で動くという事か。

KCS

- ・ はい、その意識醸成や組織作り仕組み作りに時間が掛かるので、急に1、2年でやってくださいという訳には当然いかない。
- ・ かなり長い時間を掛けてやっている所、そこに住まわれている方の中に、例えばタクシーの元運転手が居たり、それだったらやると言った協力が得られる様な所をお願いして行く。そのため何でも自治会にお願いすると言う形は当然取れないので、そこは誤解が無い様に書きたい。

会長（埴町副町長）

- ・ 幹線で見えていった場合、湯遊ランド辺りは、町内幹線と考えられるのか。

KCS

- ・ 道がかなり細いのと、その間も家が連帯して無い。もし幹線にして行くと言う事であれば、そういうような記載の仕方は良いと思うので、そのあたりも含めてご意見頂きたい。

埧町老人クラブ連合会会長

- ・ 良いです。

埧町 PTA 連合協議会会長

- ・ 町外に行っている子ども達も、埧中に関して言えば8割以上が町外に行ってしまう。
- ・ 白河高校や白河旭高校等の子ども達は親が送って行って、出来れば埧から町外までも公共交通網があれば、わざわざ朝早く行ってまた帰って来て、親は親で当然仕事があるのでそこから仕事に行くと言う事があるので、そこでも交通手段が要るのでは。

埧町老人クラブ連合会会長

- ・ 今は直通バスが来るから、皆道の駅等でバスに乗ってしまう。便利になる度にむしろ過疎化が進んでいる面が多い。
- ・ 東白の場合は四つ中学校があるが、卒業生の数と修明高校、埧高校、鮫川分校で募集している人数はだいたい同じだがどの学校も半分位しか居ない。ということは東白出身の半分位は石川に行ったり白河の方に行く。これは学校の問題であり、進学するなら白河まで行かなければならないと、そうするとかなり無理をしている。
- ・ スクールバス等は、要するに高齢者を乗せるから中学生もそれで一緒に帰らなければならないと言う事が課題。
- ・ 利用の仕方が分からないという事も有るが、その場所まで高齢者行けないのが問題。
- ・ 今は核家族化が進んだために若い人が居ないと、日用品を求めるにも地域に雑貨屋や業者が来ないと言う事で日常生活が苦しい。
- ・ 厚生病院まで一緒に来て、そこで買い物したらと考えるが、内科の先生は毎日同じ先生ではない為、高齢者は同じ先生に受信するため、一緒に乗って来られない。
- ・ 地域を歩いて、もう少しこの制度や便利な物の利用の仕方をもう少し説明しなくてはならない、地域で高齢者に利用出来る様に、そういう手段ということをこれから検討していかなければならない。
- ・ 全ては難しいと思が、高齢者の中でも自分である程度努力すれば、恩恵に預かれるという理解は深めさせなければならない。

会長（埧町副町長）

- ・ タクシー等は、営業所が町内に有り結構時間もかかる。
- ・ 例えば何処かに、途中にハブ的な拠点を置くというのは。

有限会社ファミリータクシー

- ・ 経費が掛かってしまう。

埧町老人クラブ連合会会長

- ・ 恐らく常豊高校の利用は笹原高校より多いのでは。一緒に利用するっていうのはなかなか難しい点がかかり出ている。高城、常豊は集落がまとまっているので相乗りが出来ると。

福島交通労働組合白河支部棚倉分会長

- ・ 便数が多い。

有限会社塙タクシー

- ・ 便数が多いが乗り手が居ない。

会長（塙町副町長）

- ・ 悩ましい所も有るが、計画を作りながら走りながら考えるべき。

塙町老人クラブ連合会会長

- ・ これからそう言った所も、基本的な所は進めていて、そして少しずつ枝葉を伸ばして行って、一人でも恩恵にあずかれるようにという形で進めるしかない。

塙町婦人会会長

- ・ 後は一人暮らしの方は見守り隊の方が毎月 1 回している。その際にこういう交通手段が有るということを一緒に説明して頂きたい。

塙町老人クラブ連合会会長

- ・ 敬老会の際にそういう学習もいれてくれれば。

ふくしま自治研修センター総括支援アドバイザー

- ・ 現状のバス路線がどう利用がなされているのか、一番望ましくは停留所毎にどこからどこに乗っている乗客が多いのか少ないのかというデータが今の所は見えないので、もし計画のなかに裏付けとして入ってくると、またさらに今の様な話が実証できると思うが、そのような予定はあるか。

KCS

- ・ 今はバス停毎の乗降データは資料としてご提供出来ないので、整理と言うのは当然考えている。ただ、データ取得のための調査は今回この中に入っていないので、データの提供を事業者をお願いする流れになる。

福島交通株式会社

- ・ データは出せる部分と出せない部分があり、本社で一括管理しているため、その部分のご相談。
- ・ 出せる範囲と出せない範囲もあるので、ご了承いただくしかない。

会長（塙町副町長）

- ・ 出来る範囲でご協力いただければ。

福島県県南地方振興局

- ・ 町内においても、例えば病院の方で患者向けの無料のバスが走っていたり、等はあるのではないかな。
- ・ 財政負担の部分で実際に住民協働の部分の話が有るが含まれるのか。どこかの時点では共同運行みたいな形

が出来るのであればやるべきではないか。それを行わなければ財政負担はどんどん増えて行くばかりなので、時間は掛かるかが全国的にも色々な先進事例が出て来るので、ぜひ検討すべきではないか。

国土交通省東北運輸局福島運輸支局

- ・ 今後の計画の中でタクシーチケットの実証を色々やってみてその地区や住民のニーズにあった方法で合った物をやっていけばよいのでは。
- ・ 方向性としてデマンドも有りタクシー補助も有りと言う形では、地域間での不公平感も出て来るので、この面は整理して町としてどういった方向で持つて行くのかと言う所も考えて行く必要がある。

まち振興課主査

- ・ 過去にデマンドタクシーをやって向いている地区、向いていない地区がありデータを取っているの、デマンドがいいのかタクシー補助が良いのかと言うのは実証の段階でとりあえずやってみて、後は地区別で皆さんの理解を得ながら、この地区はこういう物が無いとなかなか町に出ていくのが難しいと説明をしながら金額的な部分はデマンドだったら少し安めに、タクシーチケットであれば負担は高くなるが、なるべく皆さんそれぞれの不満があまり大きくならない様に理解をもらいながら、地区ごとにさまざまなかたちを考えて行かないと塙町の地形としては難しいのではと思っています。
- ・ 将来的に色々な物を検討出来る様な素材として中に入れ込んでおきたいと言う部分も有り、意見を聞きながら上手く取り入れていければ。

会長（塙町副町長）

- ・ 不公平感が生じないように、そういった設定は行ってほしい。

有限会社塙タクシー

- ・ デマンドが走らなくては利用する人ができない地域と、金額的な問題がある。
- ・ 山間路線でもバス停まで長距離歩いて来るような人はデマンドでなければならない。
- ・ 今の路線は、時刻は小学生中学生に合わせた時間帯で組んでいる。そうすると一般の人は厚生病院に朝一番のバスで来ると3時頃まで待っていないと帰れないため不便性が出てくるため、免許返納してください、バスを利用してくださいと言っても、なかなか免許を返すことができない。補助的に免許証を返した人にはバス賃の半額等の何らかの形を取る等の他、地域的な事も色々考えて行く必要がある。

福島交通労働組合白河支部棚倉分会長

- ・ 財政面ばかり強く言う話ではなくて生活者の足の確保も考えねばならない。

有限会社塙タクシー

- ・ 料金的には、だいたい常豊地区は高くても2,000円位、4で割ると500円、だいたい一人500円ぐらいの料金。
- ・ 福島交通の料金はいくらか。

福島交通株式会社

- ・ だいたい同じ、480 円。

有限会社塙タクシー

- ・ 高城地区は 500 円になってしまうと常豊地区の 500 円設定に対し辻褄が合わなくなる、全然距離感が違う。
- ・ 最初の 2 カ月が利用者 4 人だった、12 月に 18 件。
- ・ バス停は有るが山一つ超える必要がある。
- ・ 一本のために人は時間をあわせないと思う、必要な時に来てほしいからタクシー頼む、そうすると 5,000 円とか 6,000 円掛かってしまい、笹原地区で買い物出来ない。

会長（塙町副町長）

- ・ 基本方針、これをベースに今頂いた意見で修正も加えながら今後のスケジュール的を事務局から説明を。

（KCS より計画書表紙、目次説明が行われた）

会長（塙町副町長）

- ・ 次回は 2 月ないし 3 月上旬位に出来れば、そこには本日頂いた意見も修正を加えながら出していきたい。
- ・ 計画の基本的な方向性について、計画の素案の作成において反映できるところは反映させて、次回また協議を行いたい。

4.その他

事務局

- ・ 何か有れば思いついた際に事務局に電話を頂くか、次回の協議会までに考えを纏めて頂き発言をいただきたい。

5.閉会

以 上